



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.14 令和4年2月28日発行

節 目

校 長 佐 野 哲 哉

弥生3月を迎えようとしています。朝晩の冷え込みに厳しさを残しつつも、日中の日差しのぬくもりに春の兆しを感じます。学校では2月17日に「児童総会」、そして25日に「6年生を送る会」を行い、それぞれの学年が次のステージに向けて意識を高めています。当初2月3日に予定していた「新1年生1日入学」では、現1年生が新1年生の「先輩」として、やさしく話しかけてあげたり、お手本を見せてあげたりして「後輩のために行動できる存在」に成長する姿を楽しみにしていましたが、まん延防止等重点措置に伴う感染防止対策のために中止を余儀なくされました。1年生にとって貴重な成長の機会を奪ってしまい申し訳なく思います。

「児童総会」では、6年生の各委員長がそれぞれの委員会の取組について、来年度への展望も含めて成果や課題を報告するとともに、各学年から寄せられた質問や意見に対していねいに答えていました。コロナ対策のため例年とは異なる校内テレビ放送での実施ということもあり、議長と8人の委員長は緊張の面持ちでしたが、見ている人を意識して堂々と答弁する様子は、最高学年として、委員会委員長として立派な姿でした。6年生のこの姿を3年生・4年生、とりわけ5年生の子どもたちは目に焼き付けたことでしょう。今回、3年生からの要望や意見が多かったこともうれしい成長の一コマです。来年度から委員会活動に加わる現3年生が、委員会の取組に興味や関心を持つことは、次期委員会へのやる気の表れだからです。6年生の魂のバトンをしっかりと受け継いだ現5年生を中心に、来期の委員会活動を活発にして、一人一人が目的意識をしっかりと持って活動し、学校生活を楽しく豊かなものにするよう期待しています。

「6年生を送る会」では、各学年が、これまでお世話になった6年生へ感謝の気持ちを込めてメッセージやクイズ、ダンスなど工夫を凝らした出し物を発表し、6年生からは後輩たちへのメッセージ、そして手作りの雑巾が各学級に贈られました。縦割清掃や委員会活動、クラブ活動などで教えてもらったこと、励ましてくれたことなどをちりばめた発表に、6年生も深く感じるものがあったことでしょう。感謝される経験を通してこれまでの自分の行動や取組を振り返り、充実感をもって次のステージへの意欲を高めることを期待します。5年生には「来年自分たちも下級生に信頼・感謝される存在になる」という決意と覚悟を、4・3年生には「頼れる高学年になる」という自覚をもつことを期待しています。

人が成長する過程には、いろいろな節目があります。学校教育の中で子どもの成長の一つの節目となるのが上記のような行事です。日々の学校生活で身につけた力や経験を生かして、協力したり助け合ったりしながら行事に取り組む中で、いろいろな価値に気づいたり、経験を深めたり、自信や意欲を高めたりして個々の成長が図られます。学校ではこのような行事を意図的・計画的に設定して子どもたちの成長を促しています。3月を迎え、そろそろ活動の軸も6年生から5年生にシフトチェンジする時期です。「児童総会」「6年生を送る会」を通して5年生はこれまで以上に来期最高学年としての意識を高めたことと思います。このような節目を大切に、次のステージに向かう自覚や責任、決意や覚悟を育みながら、年度末のまとめの学習を進めていきます。

先日、6年生の卒業式の練習を見学しました。入退場の様子や卒業証書を受け取る様子を見ましたが、となり同士の子が“あうんの呼吸”で並びをそろえたり歩くタイミングを合わせたりする様子はとても微笑ましい光景でした。無駄話一つなく張り詰めた緊張感の中で一人一人が真剣に取り組んでいる姿をみて「いよいよだ!」と私自身、身の引き締まる思いでした。声の出し方や細かな所作にはまだ練習の余地がありそうですが、式に臨む一人一人の「思い」を感じました。卒業という大きな節目を経て、彼らが強くしなやかに成長することを願い、小学校生活の集大成の場に相応しい卒業式となるよう、全校あげて意識の涵養と準備に取り組んでいきます。

日	曜	3月の主な行事
1	火	短縮日課
2	水	短縮日課 放課後学習 全集中の日
3	木	配本日 中休み読み聞かせ(2年)
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	短縮日課
9	水	短縮日課 放課後学習 卒業式全体練習5H(5・6年)
10	木	
11	金	スクールカウンセラー来校
12	土	
13	日	
14	月	大掃除週間(～17日)卒業式総練習3・4H
15	火	短縮日課
16	水	短縮日課 放課後学習
17	木	会場設営(5年)
18	金	卒業式
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	短縮日課
23	水	短縮日課 交通安全指導日
24	木	修了式・離任式
25	金	年度末休業
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力お願い致します。

6年生を送る会が行われました

2月25日（金）に6年生を送る会が行われました。本来であれば体育館に全校が集まっての開催ですが、コロナ禍のため各教室に分かれ動画を視聴する形で行われました。

各学年の発表は、感謝の言葉や6年生クイズ、ダンス、お掃除大作戦で6年生に恩返しなど、思考を凝らしたものとなり、それぞれの学年がこれまでお世話になった6年生への感謝の思いがぎっしりと込められた動画となりました。それを見ていた6年生も、笑いあり、しみりありと、感慨深い様子が見て取れました。さらに、6年生からは、自分たちが作った雑巾を各学級へ直接贈呈していただきました。ありがとうございます。

残念ながら、動画配信という形にはなってしまいましたが、約39分間の動画には、在校生からの熱い思いを感じることができました。6年生の皆さんに、この思いをしっかりと受けとめていただき、中学校生活へ生かしてもらえよう願っています。



「厚岸かぐら」について学びました

3年生の総合「伝統を受け継ぐのは私」の学習が行われました。この学習は、「厚岸かぐら保存会」の皆様の協力を得ながら、「厚岸かぐら」の歴史や由来、踊り方について学習し、体験を通して「厚岸かぐら」について考えることがねらいです。

子ども達は、「厚岸かぐら」が江戸時代末期、ニシン漁で栄えたころ、南部の漁師たちとアイヌの人たちの踊りが融合したことを知ると共に、「助六舞」「三本とうじ」の踊り方を学び、実際に踊りました。

子ども達はこの貴重な体験を通して、歴史の重みを感じると共に伝統を引き継いでいくことの重要性について感じる事ができました。



生活リズムチェックの様子から

1月に実施した生活リズムチェック週間の結果がまとまりましたのでお知らせします。

（数値の見方 前：8月実施結果⇒後：1月実施結果）

①早起き：7時までに起きる（87%⇒79%） 前回から大きく低下しました。学年学級閉鎖が要因の一つと考えます。

②朝ごはんをしっかり食べる（92%⇒92%） 現状維持です。今回は100%を目標に指導をします。

③体力づくり（71%⇒68%） 外での運動や遊びが難しい時期ですが、適度な運動を心がけましょう。

④学習学年×10分以上（76%⇒78%） 後期第2ステージが始まり、進級や進学に向け「頑張ろう！」という気持ちの表れが要因の一つと考えられます。

⑤読書10分以上（67%⇒61%） 低下が見られました。学校では週2回の朝読書の取組や学校司書による読書環境の充実を進めています。「親子読書」の取組等にご協力をお願いします。

⑥テレビ・ネット・ゲーム120分間（69%⇒63%）

学年・学級閉鎖の影響を受け達成率が低下しました。「ノーゲームデー」などの取組を継続していきます。

⑦早寝10時までに寝る（68%⇒67%） 睡眠時間が短くなったことが心配されます。

総括 多くの項目で低下または横ばいという結果となりました。学習もわずか2ポイントのアップにとどまりました。

長期休業明けにリズムチェック週間を行っているのは「休み」と「学校」の生活リズムを切り替えるという明確なねらいがあります。今一度目的意識を持ち取り組みを行っていきます。

児童総会が行われました

2月17日（木）に児童総会が行われました。今回はテレビ会議システムを使い、各学級で通信をしながらの実施となりました。

各委員長さんからは、今年度の活動の振り返りや、各学級から寄せられた意見を集約したものの発表がありました。また、次年度の展望についても発表があり、1年を締めくくる児童総会にふさわしいものとなりました。

テレビ会議システムでの開催となりましたが、実り多い児童総会となりました。

タブレットを毎日忘れずにランドセルに入れて登校しましょう

学年通信でもお伝えしましたが、タブレットは鉛筆や消しゴムと同様、毎日、毎時間使用する学習道具です。忘れてしまうと、学習に支障をきたすことがあります。必ずタブレットを持たせてから登校するよう、ご家庭でもご確認ください。バッテリー残量が少ない時は、ご家庭で充電をして下さい。

ご理解とご協力をお願いします。

卒業式へ向けて

卒業式に向けた練習が始まっています。今のところコロナ感染症も一応の落ち着きを見せ、このまま推移すると卒業生・保護者・5年生が参列する形で行うことができそうです。一生に一度しかない小学校の卒業式を、今できる限りのことを行い、6年生にとって良い思い出になることを願っています。

図書カードの寄贈

マリンバンク漁協・信漁連さまから図書カードの寄贈がありました。今回寄贈していただいた24,000円は児童図書への購入に充て、子どもたちの読書に役立てていきます。

真龍小学校便り おすすめ本(R4.3月号)

『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井良二（偕成社）

学校司書 小島 郁子

みなさんは、朝になったら窓を開けますか？

私は、どんな寒い日でも必ず窓を開けます。

朝の清々しい空気に触れ、一日の始まりを体全体で感じたいからです。

「あさになったので まどをあけますよ」

この本には、色々な地域の朝の風景が描かれています。

山のふもとや田んぼに点在する集落の朝、にぎやかな都会の朝、

川沿いの町の朝、暖かい南国の朝、そして海が見える町の朝。

どの朝も「だから ぼくは ここがすき」という言葉で結ばれています。

真龍小学校の子どもたちは、やはり、海が見える町に共感するでしょうか。

子どもの頃から見慣れた景色は、心の原風景になります。

いろんな人の心の原風景を体感できる本で、読後感がとても爽やかです。

どんなことがあっても必ず朝は来ます。

辛いこと、悲しいことがあったときこそ、窓を開けてみませんか？

卒業を迎え、悩み多き思春期に突入する

6年生に、この言葉を贈ります。

「あさになったのでまどをあけますよ」

学校図書館と情報館に所蔵があります。

